

2022年3月期第3四半期 決算説明資料

2022年2月10日

証券コード：5162

サマリー

- 2022年3月期第3四半期は、ASA COLOR LEDやスイッチ用ラバーなどの自動車向けゴム製品は、半導体不足など部材調達難の影響を受けて受注が減少傾向であるものの前年同期では増収、卓球ラケット用ラバーの受注が大きく増加したことで、増収増益となった。
- 今後について、半導体不足やグローバルでの部品調達不足から、自動車市場の伸びの鈍化は予測の範囲内であること、原材料の高騰の影響は価格転嫁にご理解いただいていることから、通期予測は変更しない。
- 業績回復により中間配当は10円を実施。期末配当も普通配当10円を予定。

2022年3月期第3四半期決算説明資料 目次

I. 2022年3月期第3四半期決算実績

| | | |
|--------------|-------|-----|
| 1. 連結決算実績 | | 3 |
| 2. 連結設備投資実績 | | 4 |
| 2. 中期事業分野別実績 | | 5 |
| 3. 主要製品実績 | | 6~9 |

II. 2022年3月期通期見通し

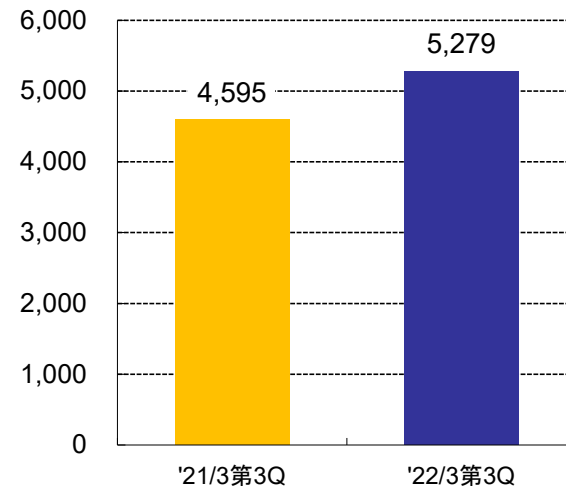
| | | |
|-----------------|-------|----|
| 1. 経営方針・経営戦略 | | 10 |
| 2. 連結決算見通し（前年比） | | 11 |
| 3. 中期事業分野別計画 | | 12 |
| 4. 主要製品の通期売上計画 | | 13 |
| 5. 連結設備投資計画 | | 14 |
| 6. 配当計画 | | 15 |

I-1. 連結第3四半期決算実績（前年同期比）

（単位：百万円、％）

| | 2021年3月期 第3四半期 | | 2022年3月期 第3四半期 | | 前年同期 増減率 |
|--------|-------------------|-------|-------------------|-------|-------------|
| | 実績 | 構成比 | 実績 | 構成比 | |
| 売上高 | 4,595 | 100.0 | 5,279 | 100.0 | 14.9 |
| 売上総利益 | 820 | 17.9 | 1,293 | 24.5 | 57.7 |
| 営業損益 | ▲160 | - | 258 | 4.9 | - |
| 経常損益 | ▲97 | - | 263 | 5.0 | - |
| 四半期純利益 | 28 | 0.6 | 201 | 3.8 | 598.8 |

（単位：百万円） 連結売上高実績

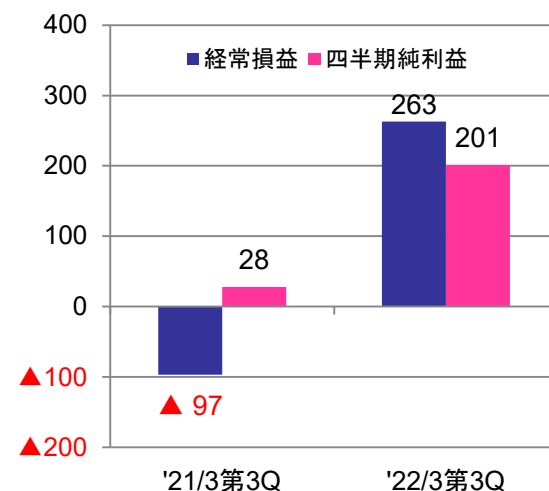


● 自動車向けゴム製品の受注が好調で大幅な増収増益。

（単位：百万円、％）

| セグメント別 | 2021年3月期 第3四半期 | | 2022年3月期 第3四半期 | | 前年同期 増減率 |
|------------|-------------------|-------|-------------------|-------|-------------|
| | 実績 | 構成比 | 実績 | 構成比 | |
| 工業用ゴム事業 | 3,696 | 80.4 | 4,395 | 83.2 | 18.9 |
| 医療・衛生用ゴム事業 | 899 | 19.6 | 884 | 16.8 | ▲1.6 |
| 売上高 | 4,595 | 100.0 | 5,279 | 100.0 | 14.9 |

（単位：百万円） 連結損益実績



I-2. 連結設備投資実績

設備投資額 100百万円

減価償却費 338百万円

事業分野別設備投資内訳 (単位：百万円)

| | | |
|---------------|----|---------------------|
| 光学事業 | 13 | 透明レンズの生産設備など |
| 医療・ライフサイエンス事業 | 31 | 回路製品の生産設備導入など |
| 機能事業 | 36 | 自動車向けゴム製品生産設備導入など |
| 通信事業 | 12 | RFIDタグ用ゴム製品生産設備改良など |
| その他 | 6 | |

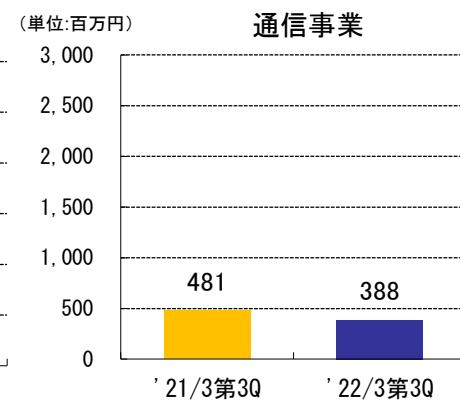
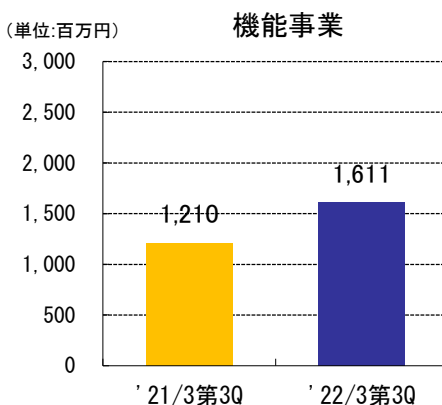
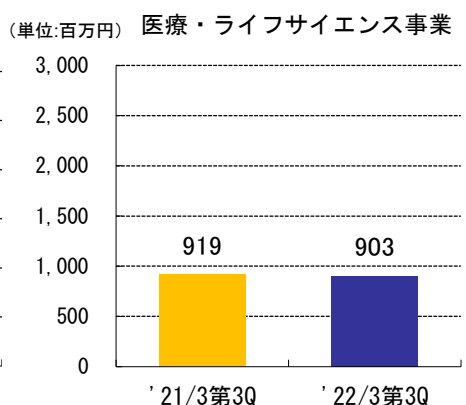
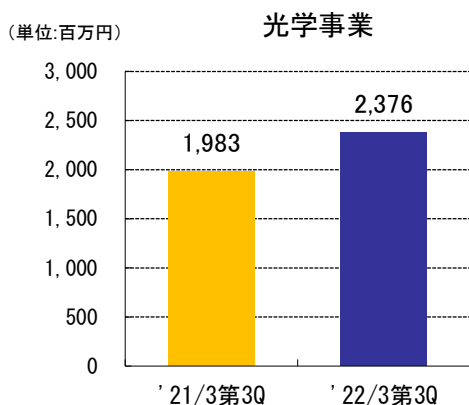
法人・分野別設備投資内訳

| | | |
|------------|-------|------|
| 朝日ラバー | 80百万円 | 全事業 |
| 東莞朝日精密橡膠制品 | 20百万円 | 機能事業 |

I-3. 中期事業分野別実績

(単位:百万円、%)

| 事業別売上高 | 2021年3月期 第3四半期 | | 2022年3月期 第3四半期 | | 前年同期 増減率 |
|---------------|-------------------|-------|-------------------|-------|-------------|
| | 実績 | 構成比 | 実績 | 構成比 | |
| 光学事業 | 1,983 | 43.2 | 2,376 | 45.0 | 19.8 |
| 医療・ライフサイエンス事業 | 919 | 20.0 | 903 | 17.1 | ▲1.7 |
| 機能事業 | 1,210 | 26.3 | 1,611 | 30.5 | 33.1 |
| 通信事業 | 481 | 10.5 | 388 | 7.3 | ▲19.3 |
| 売上高合計 | 4,595 | 100.0 | 5,279 | 100.0 | 14.9 |



●ASA COLOR LEDの受注自動車市場の回復を受けて大幅に増加。

●一部製品の在庫調整の影響が長期化が継続し売上高は微減。

●自動車スイッチ用ラバーの受注回復と卓球ラケット用ラバーの受注が堅調に推移。

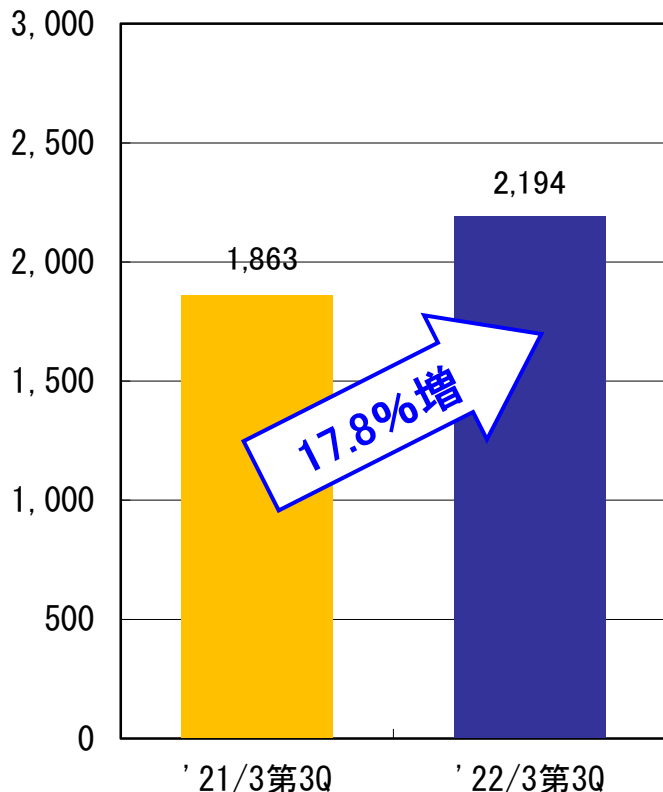
●RFIDタグ用ゴム製品の顧客の生産調整の影響を受け、受注が減少。

I-4. 主要製品実績 – ASA COLOR LED

工業用ゴム事業

光学事業

(単位:百万円) 連結売上高推移

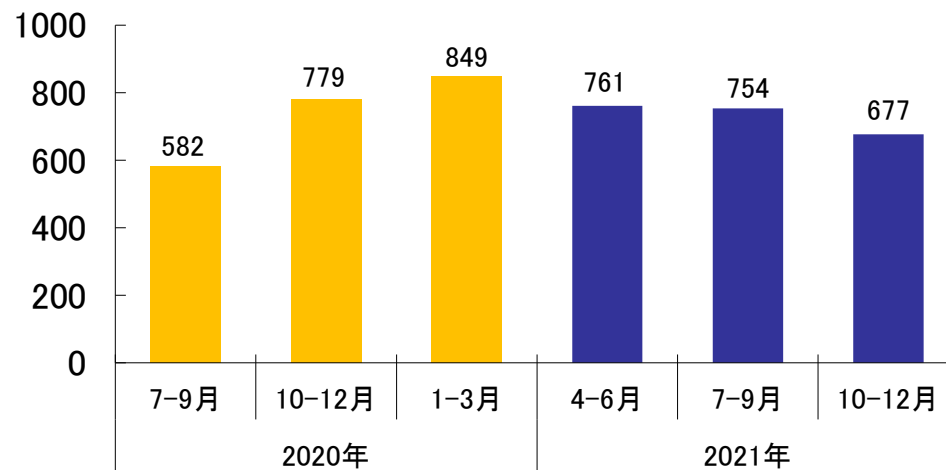


ASA COLOR LED

蛍光体を配合したシリコンゴム製のキャップを青色LEDに被せることで10,000色以上の光のバリエーションを提供できる。自動車内装照明や特殊照明向け。



(単位:百万円) 四半期会計期間の売上高推移



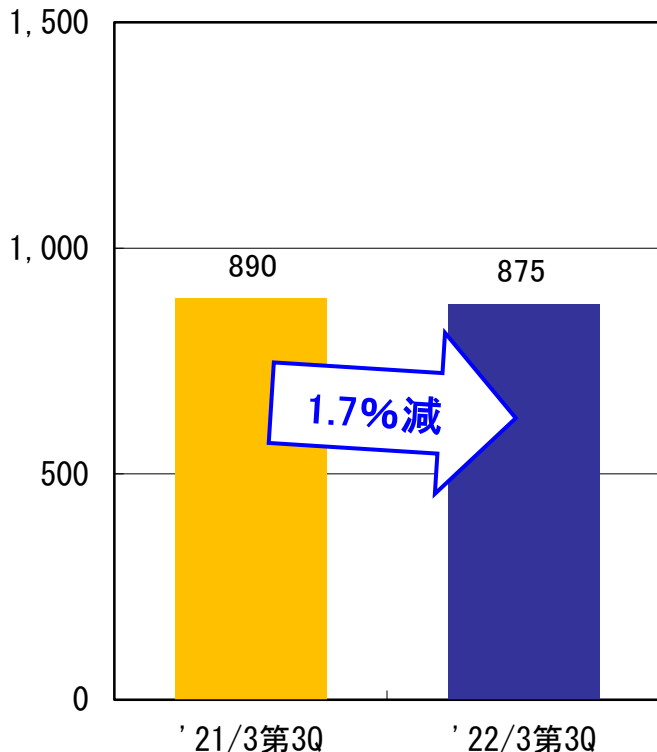
● 昨年後半からの自動車市場の回復による受注増加から、半導体不足等による自動車生産の減少が影響し受注が減少傾向。

I-4. 主要製品実績－医療用ゴム製品

医療・衛生用ゴム事業

医療・ライフサイエンス事業

(単位:百万円) 連結売上高推移



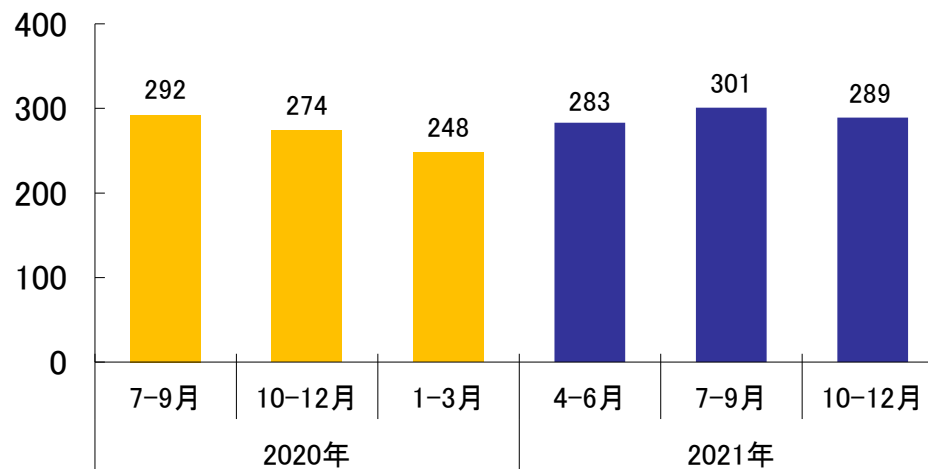
ディスポーザブル用ゴム製品

プレフィルドシリンジ(薬液充填済み注射器)用
ガスケット、採血用・薬液混注用ゴム栓など、使
い捨てのディスポーザブル用ゴム製品。



四半期会計期間の売上高推移

(単位:百万円)



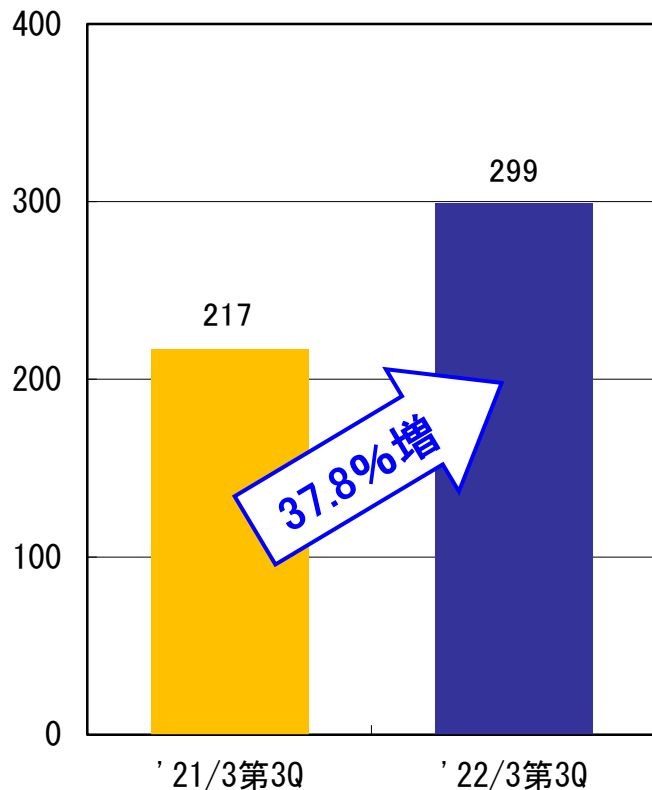
● 一部製品の在庫調整は徐々に回復傾向にあるが、新型コロナウイルス感染症拡大前までには回復していない。

I-4. 主要製品実績 – スポーツ用ゴム製品

工業用ゴム事業

機能事業

(単位:百万円) 連結売上高推移



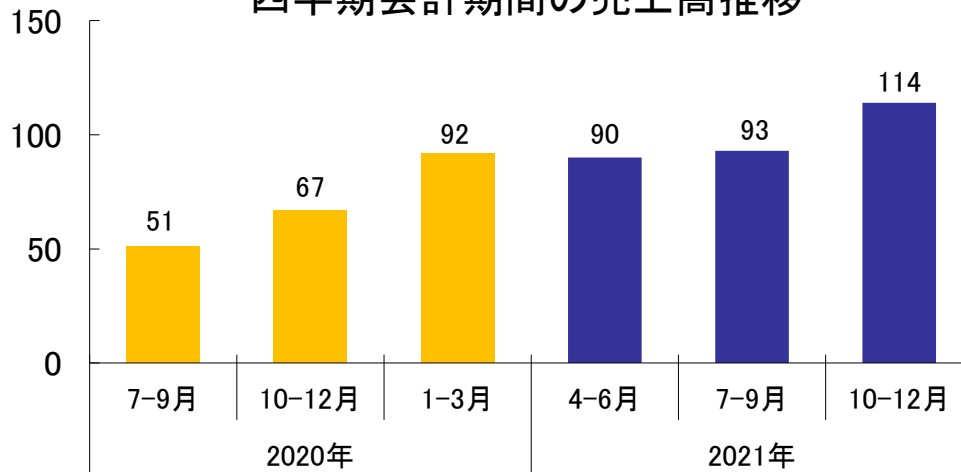
卓球ラケット用ラバー

反発弾性、高摩擦抵抗などを追及した高品質の卓球ラケット用ラバー。



(単位:百万円)

四半期会計期間の売上高推移



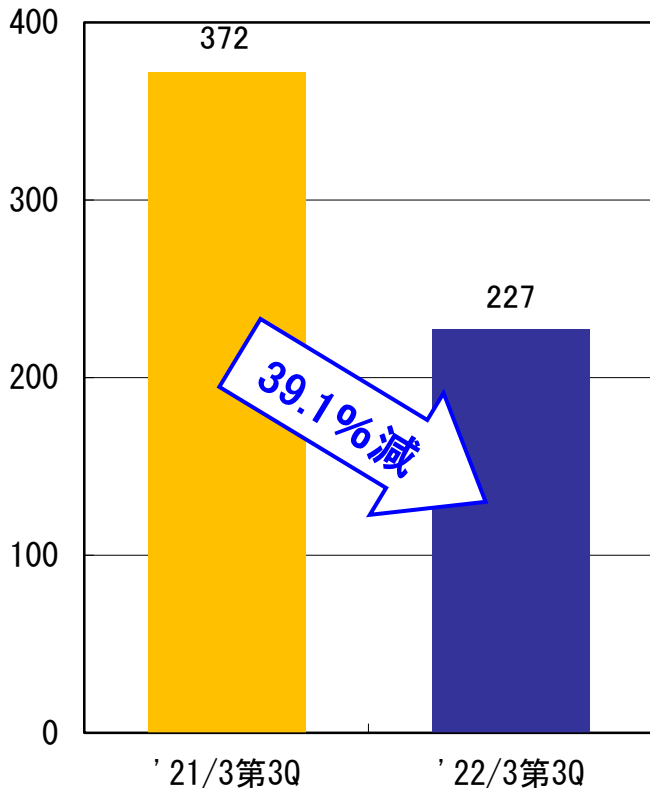
● 市場の回復傾向と東京五輪後の需要回復を受けて受注が増加。

I-4. 主要製品実績 – RFIDタグ用ゴム製品

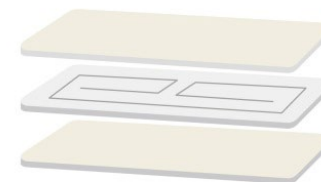
工業用ゴム事業

通信事業

(単位: 百万円) 連結売上高推移

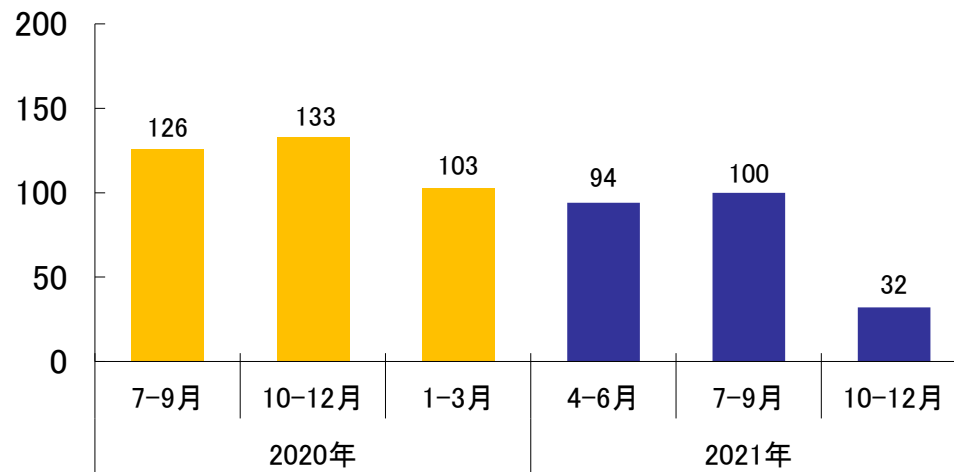


● 溶剤を使わずに接着させる“分子接着・接合技術”を応用し、ICチップやアンテナ部をゴム素材で覆い、折り曲げに強く、耐水性、耐熱性に優れた、柔らかい小型のICタグ。



RFIDタグ用ゴム製品イメージ

(単位: 百万円) 四半期会計期間の売上高推移



● 最終ユーザーの北米市場が新型コロナウイルス感染症拡大による需要減と顧客の生産調整の影響により受注が減少。

経営方針

みんなにうれしさをお届けしよう

経営戦略

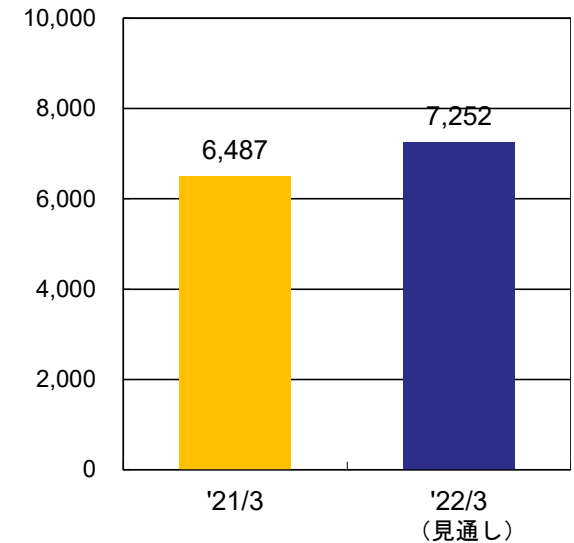
- 1. 事業の魅力を高めて出口をつかむ**
- 2. 気づきを高めて課題を解決する**
- 3. ESG経営を推進する**

II-2. 2022年3月期連結決算見通し（前期比）

（単位：百万円、％）

| | 2021年3月期 | | 2022年3月期見通し | | |
|-------|----------|-------|-------------|-------|---------|
| | 実績 | 構成比 | 見通し | 構成比 | 前期増減率 |
| 売上高 | 6,487 | 100.0 | 7,252 | 100.0 | 11.8 |
| 売上総利益 | 1,254 | 19.3 | 1,753 | 24.2 | 39.7 |
| 営業損益 | ▲92 | - | 321 | 4.4 | - |
| 経常利益 | 18 | 0.3 | 311 | 4.3 | 1,602.8 |
| 当期純利益 | 113 | 1.8 | 236 | 3.3 | 107.4 |

（単位：百万円） 連結売上高見通し

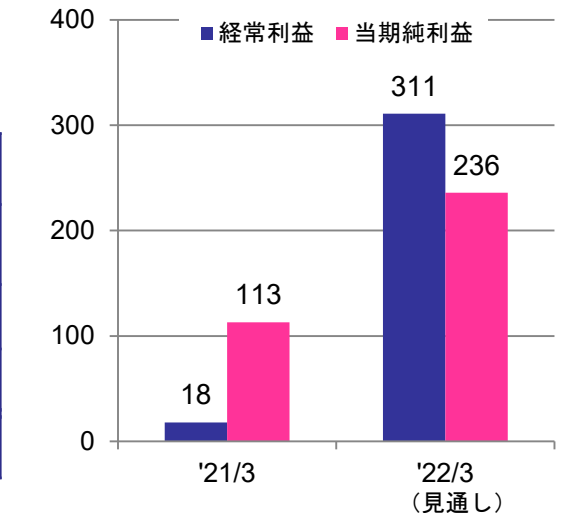


●自動車用ゴム製品の受注の鈍化傾向とRFIDタグ用ゴム製品の受注減傾向だが卓球ラケット用ラバーの受注回復などから通期業績見通しは修正しない。

（単位：百万円、％）

| セグメント別 | 2021年3月期 | | 2022年3月期見通し | | |
|------------|----------|-------|-------------|-------|-------|
| | 実績 | 構成比 | 見通し | 構成比 | 前期増減率 |
| 工業用ゴム事業 | 5,336 | 82.3 | 6,090 | 84.0 | 14.1 |
| 医療・衛生用ゴム事業 | 1,151 | 17.7 | 1,162 | 16.0 | 0.9 |
| 売上高 | 6,487 | 100.0 | 7,252 | 100.0 | 11.8 |

（単位：百万円） 連結利益見通し



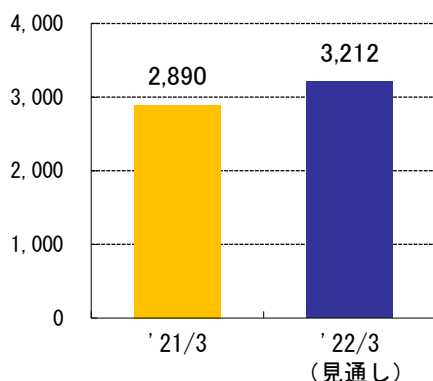
II-3. 中期事業分野別見通し

(単位:百万円、%)

| 事業別売上高 | 2021年3月期 | | 2022年3月期見通し | | |
|---------------|----------|-------|-------------|-------|-------|
| | 実績 | 構成比 | 見通し | 構成比 | 前期増減率 |
| 光学事業 | 2,890 | 44.6 | 3,212 | 44.3 | 11.1 |
| 医療・ライフサイエンス事業 | 1,206 | 18.6 | 1,182 | 16.3 | ▲2.0 |
| 機能事業 | 1,759 | 27.1 | 2,271 | 31.3 | 29.1 |
| 通信事業 | 631 | 9.7 | 586 | 8.1 | ▲7.1 |
| 売上高合計 | 6,487 | 100.0 | 7,252 | 100.0 | 11.8 |

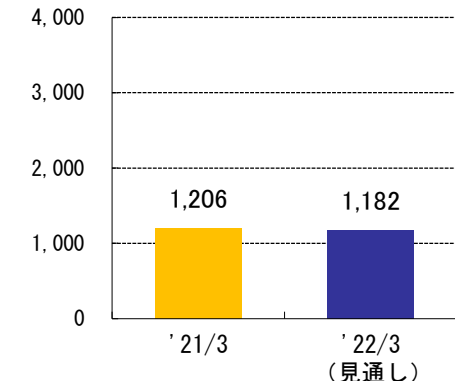
(単位:百万円)

光学事業



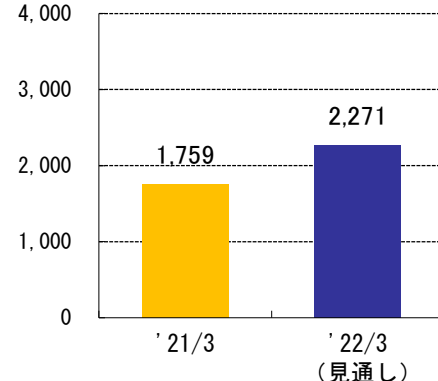
(単位:百万円)

医療・ライフサイエンス事業



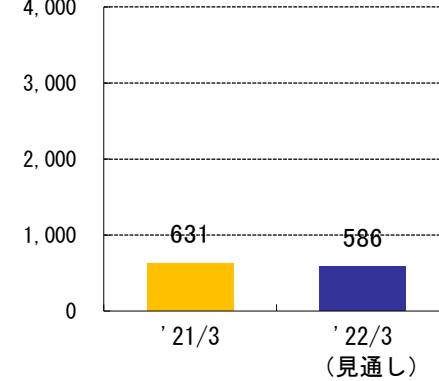
(単位:百万円)

機能事業



(単位:百万円)

通信事業



●ASA COLOR LEDの受注の伸びは鈍化するが前年同期比で売上げ増の見通し。

●医療用ゴム製品の一部製品の在庫調整は緩やかに回復傾向。

●自動車スイッチ用ゴムの受注の伸びは鈍化するが、卓球ラケット用ラバーの受注が増加し売上げ増の見通し。

●RFIDタグ用ゴム製品の受注減は徐々に回復兆し。

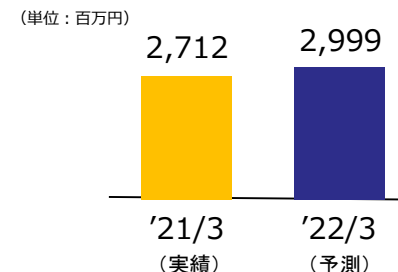
II-4. 主要製品の通期売上計画

ASA COLOR LED

工業用ゴム事業

光学事業

- ・材料供給不足による自動車市場の伸び率が鈍化傾向だが、回復状況を精査していく。
- ・来年度以降の受注活動は計画通り進める。

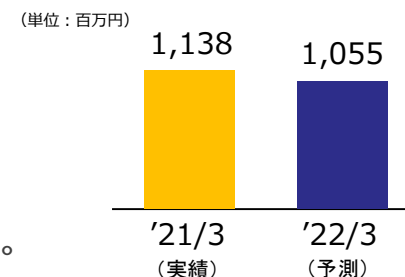


医療用ゴム製品

医療・衛生用ゴム事業

医療・ライフサイエンス事業

- ・一部の用途の製品の在庫調整は徐々に回復傾向にあるが、今期中に従来水準までは至らない。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大の鎮静化による通常医療の需要回復時期を確認していく。

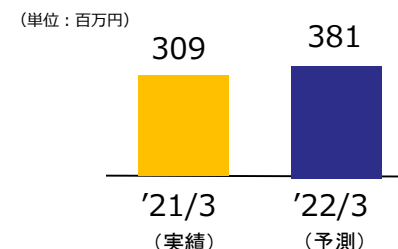


卓球ラケット用ラバー

工業用ゴム事業

機能事業

- ・東京五輪開催による効果と競技の再開により受注が回復。
- ・新製品開発を計画通り進める。

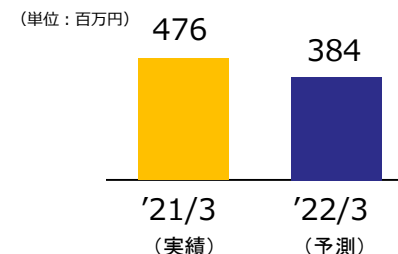


RFIDタグ用ゴム製品

工業用ゴム事業

通信事業

- ・顧客の生産調整が解消し、受注は徐々に回復する見通し。
- ・収益認識基準の変更により、前期比で売上高計上が約1億円減少する見込み。



II-5. 2022年3月期連結設備投資計画

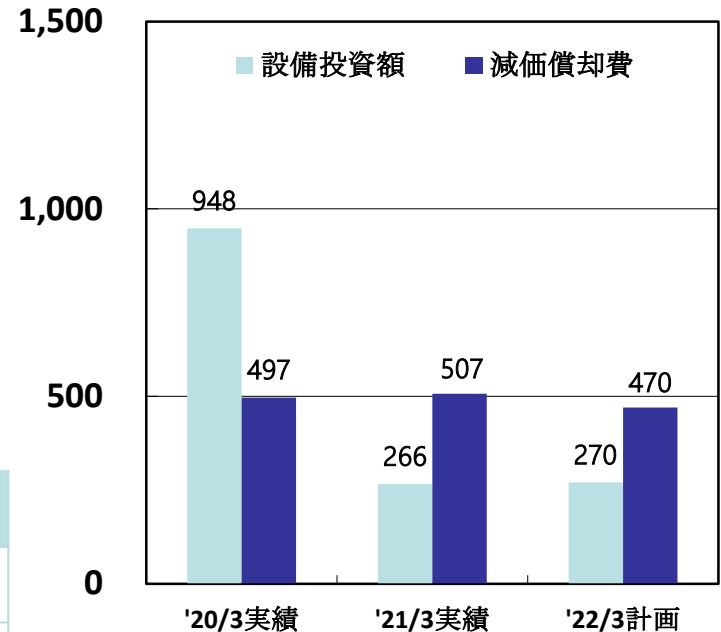
設備投資額 約270百万円

減価償却費 470百万円

(単位:百万円)

| 事業分野別設備投資内訳 | |
|---------------|--------|
| 光学事業 | 90百万円 |
| 医療・ライフサイエンス事業 | 50百万円 |
| 機能事業 | 100百万円 |
| 通信事業 | 30百万円 |

| 法人・分野別設備投資内訳 | | |
|--------------|--------|------|
| 朝日ラバー | 240百万円 | 全事業 |
| 東莞朝日精密橡膠制品 | 30百万円 | 機能事業 |

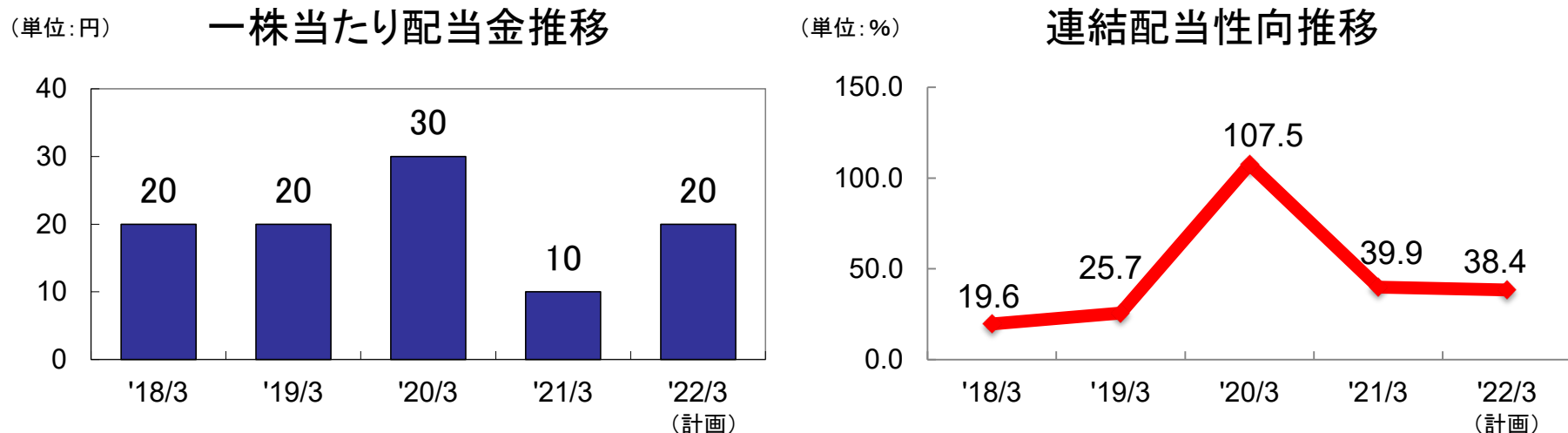


- 光学事業はASA COLOR LEDの工法開発とシリコンレンズの生産設備を増強。
- 機能事業は自動車向けゴム製品の受注増に対応する生産設備を増強。

II-6. 2022年3月期配当計画

| | 2020年3月期 | 2021年3月期 | 2022年3月期 |
|------|----------|----------|----------|
| 中間配当 | 10円 | — | 10円 |
| 期末配当 | ※20円 | 10円 | 10円 (計画) |
| 年間 | 30円 | 10円 | 20円 (計画) |

※2020年3月期の期末配当は普通配当10円と記念配当10円を実施



- 2021年3月期より業績が回復する見通しであることから、期末配当一株当たり10円を計画。

お断り

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送などを行われぬようお願いいたします。

当資料についてのお問い合わせ先
株式会社朝日ラバー 管理本部経営企画部
TEL 048-650-6056